

社会福祉法人あおば福祉会
おひさま保育園
2022年度（第25年度）事業報告

はじめに

25周年の節目を迎えた今年度。同じく5周年を迎えた姉妹園の『おひさまこ保育園』と合同で、周年実行委員会を立ち上げ、記念誌づくりに取り組みました。日々の生活や行事が制限され、通常のように取り組めないことがしばしばあったコロナ禍ですが、一方で、保護者と共に子どもたちの最善を追求し、行事を創造することもできました。記念誌づくりでは、改めて保育園で行っている行事の「意義」を再確認し、「思い」をみんなで語り合い、そのことを形に残すことができました。これまでの歴史や保育を継承し、人とひとをつないでいく媒体になることを期待しているところです。また、延期していた第三者評価の受審にも参加しました。そのプロセスにおいても同様に、職員みんなが参画し、自分たちの保育について考え合うことができました。保護者アンケートでは、返信率が93パーセントを超え、園に対する関心の高さや評価は、私たちの励みになりました。『おひさまこ保育園』との連携のあり方については今後の課題です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策事業補助金を活用し、複数カ所の施設改修工事、及び大型備品を購入しました。感染予防対策の充実はもちろんのことですが、子どもたちや職員にとって、よりよい環境を実現することができました。

1 こどもの入園状況

定員：90名（3歳以上児54名・3歳未満児36名）

年齢	定員	支援児 障害児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	9名	内 0名	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	12名	内 0名	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2歳児	15名	内 0名	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
3歳児	18名	内 0名	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
4歳児	18名	内 0名	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
5歳児	18名	内 0名	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	210
合計	90名	内 0名	92	92	92	92	92	92	91	91	91	91	91	91	1098

一時保育事業

利用年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳児	0	4	13	13	10	14	23	21	31	23	34	37	223
2歳児	12	11	13	7	7	11	12	6	6	3	7	7	102
3歳児以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用延べ人数	12	15	26	20	17	25	35	27	37	26	41	44	325

2 保育体制と職員の状況

民間給与改善費適用＝1人当たり平均 10年

令和4年4月1日現在 正規平均年齢 32.4歳 全職員 40.9歳

正規職員・・・17名

園長1名・副主任1名・保育士12名・栄養士3名

	氏名	年月日	異動先・その他
異動者	吉川 広美	令和5年3月31日	岸部保育園
退職者	大西 真奈	令和5年2月28日	
	荒木 明香	令和5年3月31日	
配置転換	江島 貴代子	令和5年3月31日	常勤パート

パート職員・・・13名

・常勤パート職員・・・4名

保育士2名・看護師1名・栄養士1名

・短時間パート職員・・・9名

保育士4名・調理員2名・保育補助2名・警備1名

嘱託医 4名

小児科	なんぼこどもクリニック	難波 直樹	医師
歯科	カワムラ歯科診療所	河村 忠成	医師
眼科	岡崎眼科	岡崎 俊夫	医師
耳鼻科	伊吹耳鼻科	林 伊吹	医師

3 子どもの安全と健康・危機管理

- ・園バス置き去り事故を受け、リスクマネジメント委員会を中心にして、「バス乗降時の安全マニュアル」を作成しました。園外保育における人数確認を徹底し、危機管理意識の向上に努めてきました。また、「安全計画」も策定し、保育場面での総合的な安全管理について視野を広げると共に、研修や訓練の内容充実に向けた議論をはじめています。
- ・新型コロナ対策として、給食室・保健室手洗い場の自動水栓切り換え工事、給食室のエアコン取替工事、プールシャワーの増設等の環境整備を行い、感染予防の充実に向けた環境をつくり出すことができました。また、扇風機の老朽化に伴い、全室更新工事も実施しました。
- ・今年度も豊中市保健所所長の松岡先生（当時）に来ていただき、『新型コロナと子どもQ&A part 2』というテーマで学習会を持ちました。継続した学びは、新型コロナに対する正しい知識と、保育現場における感染予防対策のあり方についての理解を得ることができています。
- ・NASの導入、「うえぶさくら」への切り換えを行い、データセキュリティー環境とバックアップ機能を強化することができました。

4 保護者の願いに応え、こどもと共に育ちあう関係を大切に！

- ・25周年の節目を迎え、保護者と共に記念誌づくりに取り組みました。コロナ禍で通常の園行事を経験してきた保護者も少なくなっています。保育園で大切にしてきた行事について、改めてその「意義」や「思い」を保護者も参画しながらまとめ、形にすることができました。
- ・保護者会の協力と要望のもと、3年ぶりに運動会の二部（保護者会主催）を行うことができました。共に力を合わせる場面や関係があったことで、新たな保護者同士のつながりをつくり出し、子育ての輪が広がってきています。また、生活発表会では3部制から2部制へ移行し、他クラスにも目を向け、子どもたちの成長を共に喜び合うことができました。
- ・恒例になりつつある北支部姉妹園ソフトボール大会では、保護者が主体となって練習や準備に取り組んできました。このことをきっかけにして、クラスを越えた保護者同士でBBQやフットサルなども行い、関係や活動の幅も広がっています。
- ・コロナ禍で延期していた第三者評価受審に7年ぶりに参加しました（受審3回目）。保護者アンケートの回収率の高さと多数の自由記述は、保育運営や保育内容への関心の高さを示し、そのことを評価していただいたことは確信や励みになりました。
- ・自転車の止められる台数が限られていた駐輪場の拡張工事を行い、保護者の要望に応えることができました。

5 こども達が地域の中で育つことを大切にしたい地域活動をめざして

- ・コロナの影響で継続的に実施することが難しかった配食サービスですが、園内や地域の感染状況を鑑みながらではありましたが、ほぼ毎月実施することができました。短時間ではありますが、地域の高齢者と子どもたちが交流する機会は、双方にとっての喜びになりました。
- ・おひさまっこ保育園と連携しながら取り組んでいる、子どもの居場所づくり『おひさまの家』（地域支援事業）では、放課後子どもクラブ後の生活支援の場として、地域の学童（主に卒園児）を毎日3～5名ほど受け入れ、在園児と交流を図ってきました。
- ・地域の園庭開放「あそぼう会」は再開したものの、周知の仕方が弱かったのか、年間を通して参加者が0組でした。一方で、園の見学者は年々増加傾向にあるため、地域の方と関係を紡ぎながら地域活動を展開できるようにしていきたいと考えています。
- ・3年ぶりに幼保こ小連絡会が開催され、小学校接続に向けた取り組みについて交流を図りました。また、小

学校体験入学も実施することができ、就学前の子どもたちの期待や見通しにつながりました。

6 職員の資質向上をめざして

- ・25周年記念誌や第三者評価受審を通して、職員も参画してきたことで、法人や保育園の歴史、保育運営や保育内容についての理解につながりました。
- ・衛生推進者（看護師）や子育て支援員（早朝パート）の配置に向け、対象者が研修を受講することができました。キャリアアップ研修については、対象者が2024年までに全分野取得できるように計画的に受講している段階です。
- ・子どもの身体づくりに向けた体育活動、及び体育指導についての学びを深めるために、体育指導者を講師として招き、実地研修を行いました。職員が自ら身体を動かすことで、実感と指導力の向上につながりました。
- ・研究者にも参画していただき、場面記録をもとに保育実践の交流を行ってきました。そのことを通して、子ども理解と保育の手立てをつくり出すことができました。
- ・豊中地域の交換研修、北支部での交換研修を行い、お互いに保育の質を高め合ってきました。北支部法人研修では、新たな試みとして中堅職員を対象者に、「長く働き続けられる職場であるために」というテーマで研修を行いました。対象者を限定することで、より目的に即した研修ができ、責任者としての役割を自覚する機会になりました。
- ・第54回全国保育団体合同研究集会（高知）で、竹田沙世・久木元悠衣が「1歳児の保育」の提案をしました。

7 中長期計画に関して

・2022年度実施事業

<ひと>

- ・吹田市民営化による職員配置に向け、1名の職員を送り出すことができました。

<もの>

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策事業補助金を活用し、各箇所の施設改修工事、及び備品の買い替えを行いました。内容については以下の通りです。

○給食室エアコン入れ替え工事（ビティー）	1,122,000円
○保護者駐車場拡張工事（春建築工房）	472,500円
○プールシャワー増設工事（ビティー）	999,000円
○電気設備更新工事（リコー）	1,183,599円
○園車（ダイハツ）購入（オオサケモータース）	1,500,000円

<こと>

- ・おひさまの会『ぼかぼか』として、「おひさまカーニバル」や「しめ縄づくり（文化事業）」、保育学校の開催と、計画してきたことをすべて実行することができました。また、ニュースを発行し、会の目的や活動内容の見える化を図ってきました。
- ・25周年記念事業として、記念誌づくりを行いました。

8 保健業務報告

1. 園児出欠表

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 出席率	76	78	83	74	60	78	77	82	77	74	79	79	76.4
② 病欠率	4	4	1	3	10	4	2	3	2	3	7	3	3.8
③ 都合欠率	20	18	16	23	30	18	21	15	21	23	14	18	19.8
④ 全員出席日数	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.3

2. 歯科健診

クラス	園児総数 (人)	検診人数 (人)	検診結果			
			虫歯		清掃状態不良 歯垢・歯石	その他
			合計人数	合計本数		
0歳児	9	9	0	0	0	なし
1歳児	12	12	0	0	1	癒合歯1 吸指癖1
2歳児	15	15	1	9	0	開咬1 上顎前突3 吸指癖7 上唇小帯2
3歳児	18	18	2	4	0	開咬2 上顎前突2 吸指癖2
4歳児	20	20	6	35	0	開咬2 吸指癖2 反対咬合3
5歳児	18	18	2	3	0	開咬1 吸指癖1

虫歯がある児の多くが、2本以上の虫歯があり、4歳児で虫歯が19本ある児童がいました。

3. 事故報告

件数	発生日時	氏名	クラス	年齢	性別	災害場所	傷病名	診療科	治療日数
1	4/7	A	4歳児	4歳4カ月	女	部屋	前歯亜脱臼	歯科	1日
2	6/6	B	3歳児	4歳0カ月	男	靴箱	肘内障	整形外科	1日
3	7/13	C	1歳児	1歳11カ月	男	部屋	肘内障	整形外科	1日
4	10/19	D	2歳児	3歳5カ月	男	部屋	肘内障	整形外科	1日
5	12/23	A	4歳児	4歳4カ月	女	部屋	前歯亜脱臼	歯科	1日
6	1/11	E	5歳児	5歳9か月	男	下駄箱	頭部裂傷	整形外科	3日
7	1/12	F	1歳児	2歳7カ月	男	部屋	肘内障	整形外科	1日

手をつかず転倒し、口元を打ち前歯を亜脱臼する症例が1件ありました。内科健診でよく転倒する傾向があると相談すると足関節が柔軟で転倒しやすいと指摘を受けました。特に慌てると転倒しやすい状況になりやすいことを保護者とも共有しました。2件目は同園児が座っている足にひっかかった園児が背中にぶつかり、口元を打ち付け前歯を亜脱臼しました。

肘内障は手すりを持って階段を上がっている途中に降りようとして、手すりをもったまま方向転換したことにより生じました。また、こけた拍子に手首を打ち付けたことが原因となったのが2件、子どもの意思とは違う方向に手を握った事例が1件ありました。肘内障は強く腕を引っ張っていなくても向きの違う力が入ると生じる傾向があることを職員間で周知しました。

5歳児の頭部裂傷は、給食前の時間に下駄箱前で子ども同士がやりとりをしていた時にバランスを崩し、転倒したことにより生じました(2針縫うけが)。活動の節目の生活のつくり方や職員の間も向け方について振り返り、そのことをみんなで共有しました。

4. 感染症発症状況 年間感染症・クラス(年齢)別罹患児数

新型コロナウイルスの感染者は月に1～3人みられました。8月は幼児クラスで7人と増加しましたが、乳児クラスには拡大せず徐々に終息しました。7月に乳児クラスでRSウイルス感染症が6名、発熱での欠席者が数名いました。9月は手足口病と診断された乳児が5名、ヘルパンギーナが1名。インフルエンザは1月に3名程度でしたが、2月後半と3月上旬に計43名と流行しました。通年、都合休みが多く、全員出席日数が年間で4日でした。急性胃腸炎と診断された園児はいませんでした。嘔吐や下痢の園児がいたクラスは、夜間にクックノンでの除菌消毒を行っています。2022年度の新型コロナウイルス感染者は、職員4名・園児21名でした。

5. 予防接種

予防接種を積極的に行わない園児が1名いますが、成人してから本人がするかしないかを判断してもらうということでした。その他の園児は予防接種を順調に行っています。5歳児の就学前のMRも行っていない園児はいませんでした。

6. 体調不良児対応型保育

月別利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	9	14	16	14	17	13	3	9	3	8	8	5	119

発熱者を伴う児で1時間程度の保育がほとんどでした。勤務途中でのお迎えが難しく3時間後にお迎えとなった児が0歳児で3名いました。4・5・6月は新入園児の0・1歳児に発熱が多くみられました。7月はRSウイルス、新型コロナウイルス感染による発熱者が数名、他風邪と診断された児がいました。8月はヒトメタニューモウイルス、下痢の園児が増えました。9月は手足口病が市内で流行っていた状況で突然の発熱で体調不良時の保育が多く、1・2月は後で風邪やインフルエンザと診断された発熱での利用者を認めました。

7. 保健のまとめ（特徴と考察）

- ・プールがはじまる前にプールでの事故を想定した訓練をリスクマネジメント委員が行い、救急車を呼ぶ手順を周知しました。
- ・給食は職員と園児は必ず1m以上離れて行き感染拡大防止に努めました。園児に話しかける際は、マスクを必ずするように心掛けていました。
- ・昨年度に比べ事故が少なかったのは、職員が内科健診での指摘された転倒しやすい児を意識して保育していた面や、年度初めの新年度会議でヒヤリハットやインシデント/アクシデントを月ごと、及び年間の傾向把握と分析を行い、対策を講じてきたからではないかと考察します。

9 その他添付資料

1. 年次有給休暇取得状況

	正規職員		パート職員
	本年度分	累積	本年度分
① 平均保有日数	16.4	27.7	13.3
② 平均取得日数	13.9	14	12.9
取得率 (2/1)	84.7%	50.5%	96.9%

2. 職員研修一覧

研修の名称 研修の内容	参加研修名
施設長研修 (人事・労務・経理・制度等)	・経営懇話会夏季セミナー ・労務管理研修 ・第42回民間保育園経営研究セミナー
保育士等キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策/食育・アレルギー等)	・令和4年度大阪府保育士等キャリアアップ研修 【乳児保育】【幼児保育】
人権研修 (府・市)	・豊中市障害児保育研修 ・豊中市栄養士研修会
保育士研修 (自治体・社協・保育士会・他)	・社会福祉施設のBCPについて
支援児研修 (障がい・支援の理解)	・豊中市障害児研修 ・発達障害かもしれない幼児期の子どもの理解と指導(支援)
感染症研修 感染症予防等	・冬の感染症対策と保育 ・安全衛生推進者研修

リスクマネジメント研修 危機管理・防災等	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さ対策セミナー ・リスクマネジメントに関する研修 ・「安全計画」の立て方
法人研修 (歴史・制度・人権・保育内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・他園研修 ・北支部法人研修 「保育目標に基づいた実践から学ぶ」 ・北支部法人研修 「働き続けられる職場づくり」 ・北支部法人研修 「法人理念、保育理念、基本方針の理解を深める」
自主研修 (分野別)	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別保育講座 0歳児/1歳児/2歳児/3歳児/4歳児/5歳児 ・園内研修 YTS研修 体育指導 ・第61回全国保育問題研究集会(京都) ・第54回全国保育団体合同研究集会(高知) ・第38回夏季セミナー ・沖縄・平和と学びと連帯ツアー ・第16回大阪保問研研究集会「音楽部会の歴史と実践」 ・秋の保育学校「劇づくり」 ・経営懇リモート学習会2022「幼保小の架け橋プログラムの問題点と私たちの保育」 ・園内自主研修(長瀬氏/杉山氏)

3. 地域活動報告

新型コロナの状況を鑑み、園庭開放のみ再開しましたが、参加者は年間を通して0組でした。

4. 実習生・ボランティア受け入れ報告

<実習生>

	実習養成校	学校種別	期間	実習日数	受け入れ人数
1	千里金蘭大学	大学	2022. 8. 22~9. 2 2023. 2. 6~2. 17	11日 10日	1人 1人
2	常磐会短期大学	短期大学	2022. 9. 5~9. 17	12日	1人
3	梅花女子大学	大学	2022. 9. 12~9. 26	11日	1人
4	株式会社ポピンズ	子育て支援員養成	2023. 1. 16・17	2日	1人
合 計				46日	5人

<ボランティア>

紹介機関名	参加者		期間	受け入れ日数
	年代	延べ人数		
	小学生	43人	2022. 7. 25~8. 23	43日
	高校生	2人	2021. 7. 21~8. 20	2日
	高校生	1人	2023. 2. 15~3. 30	16日
大阪府社会福祉協議会	高校生	1人	2022. 8. 1~8. 5	5日
延べ人数	47人		延べ受け入れ日数	66日